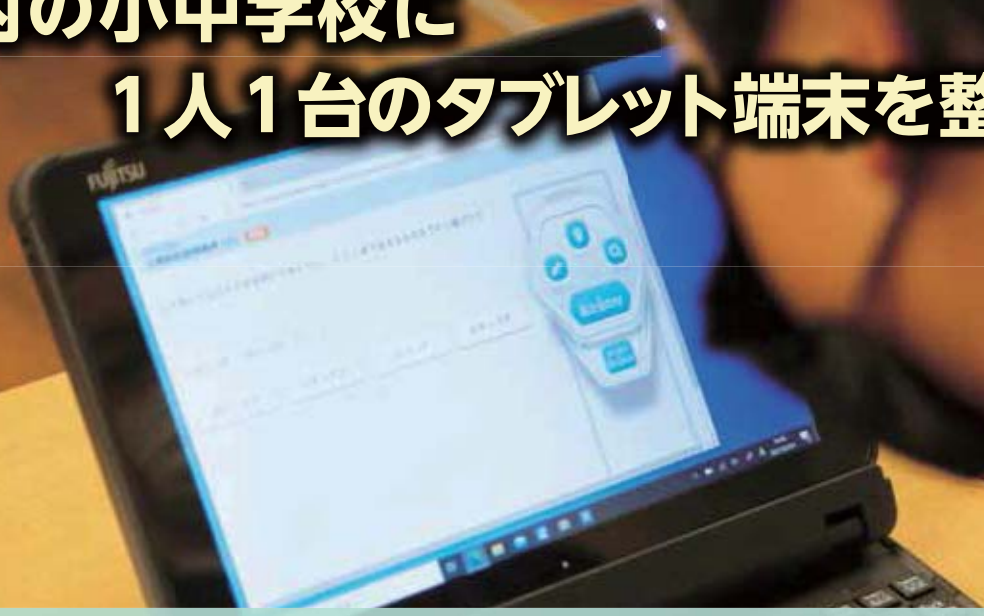


～GIGAスクール構想の実現に向けて～

町内の小中学校に

1人1台のタブレット端末を整備



※1
町は、文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想」の実現に向けて、1人1台のタブレット端末と通信ネットワーク環境を整備しました。

2月1日④に、長洲中学校で初めてタブレット端末を使用した授業が行われ、中逸博光町長から生徒たちにタブレット端末が手渡されました。

中逸町長は、「情報を読み解き、活用する力を育てプログラミングを学んでほしい。将来は学んだ力を長洲町のまちづくりに生かしてほしい」と生徒たちにエールを送りました。

※1

GIGAスクール構想とは…先端技術を効果的に活用し、子どもたち一人一人の資質や能力などの多様な個性を誰一人取り残すことなく最大限に引き出すことを目指しているものです。



近年、スマートフォンやSNSの普及により、どこでも・誰でも・いつでも、常にインターネットを通じて情報を発信し、交流することができるようになりました。

現代の子どもたちにとってタブレット端末は、鉛筆やノートにならぶ「現代の文房具」であり、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常となっていく将来がすぐそこまで来ています。

学校教育においても、ICT機器を子どもたちが適切に活用する技術を身に付け、「自ら課題を見つけ、自らから学び、自ら考え判断し、そして行動する」。

一人一人がそれぞれの幸せを実現する力を持った子どもたちの育成を目指していきます。

■印刷／コピー印刷

※この広報紙は地域環境にやさしい植物油型インキを使用しています。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。